

あいあいっうしん

No. 491
2019 (平成 31)
3. 11

編集 京都ライトハウス
視覚支援 あいあい教室
TEL : 075-462-4462
FAX : 075-462-4464
aiai@kyoto-lighthouse.or.jp

プレイルームに差し込む暖かな日差しに、春の訪れを感じるこの頃。小雪がちらつく日はあったものの、例年になく暖かかった今年の冬も終わりを告げようとしています。街ゆく人たちの服装も徐々に軽やかになり、通勤途中の木々には小さな花芽がちらほら。春はもうすぐそこまで来ています。

今年度も残りわずかとなりました。来年度4月から放課後等デイサービス事業が拡大され、大きな一歩を踏み出すあいあい教室。

新しいスタートに向けて、3月号のっうしんをお届けします。



いい日旅立ち

3月の予定

- 1日(金) 保護者代表者会議 (13:30~14:30)
- 5日(火) 行政・医療関係者向け研修 (南部アイセンター/古川・廣瀬)
- 13日(水) 京都新聞 取材
- 22日(金) 避難訓練 (14:00~)
- 24日(日) 第42回 卒園式 (4階 あけぼのホール)
- 29日(金) 通園最終日
- 30日(土) 通園春休み

※引き続き、後期個別懇談を行います。

※各グループで保護者リフレッシュデーを行います。

皆勤賞! 頑張ったよ!



佳

4月の予定

- 1日(月) 放課後等デイサービス拡大記念「春をよぶあいあい コンサート」
(開演: 14:00 *会場: 13:00/4階 あけぼのホール)
- 2日(火) 新年度通園始まり

<通園保護者の方へお願い>

★3月末に、各部屋の清掃を行います。お子さんの引き出しの荷物は通園最終日に必ず持ち帰りいただき、新学期に再度持ってきてください。

第42回 卒園式のご案内

日 時：3月24日（日） 10:00～12:00（受付 9:30～）

会 場：ライトハウス 4階 あけぼのホール

あいあい教室ではこの春、14人のお友

みんなおめでとう！



だちが卒園を迎えます。みんなで、卒園児さんの門出をお祝いしましょう。

※駐車スペースに限りがあります。可能な方は公共交通機関の利用をお願いします。

★おたんじょうびおめでとう

3月生まれのおともだち★

K さん

1 歳になります

8月から通園が始まったKちゃん。音の鳴る玩具を上手に振って、ニッコリうれしそう。つかまり立ちもできるようになって、遊びが広がってきましたね。最近はお母さんがそばにいないと、大きな声で泣いてアピールするようになってきました。これからも、いろいろな遊びをいっぱい経験していこうね！

A さん

3 歳になります

「ちん（クーゲルバーン）して遊ぶ」「ばあちゃんと、プール行った」と、したいことや楽しかったことをたくさんお話するようになってきたAちゃん。最近ピアノを弾くのが大好き！自分で聞いたフレーズを弾いてみんなに褒められると嬉しそう！これからも、いろいろなことにチャレンジしようね。

M さん

4 歳になります

弟が生まれてお姉さんになったMちゃん。オムツを持って行ったり、お母さんのお手伝いも張りきっているんだよね。あいあいでは「〇〇ちゃん、ここ」「アンパン（マン）とって」と、自分からお話することも少しずつ増えてきたね。楽しいことが大好きなMちゃん、これからもいっぱい遊ぼうね！

E さん

4 歳になります

遊びをのびのび楽しむ姿が、ますます増えてきたEちゃん。「できるし、みててな！」と得意になったケンケンをしたり、「これは せんせい」とお絵かきで顔を描くのも、この頃のお楽しみだね。Eちゃんの誇らしげな笑顔がもっと輝くように、これからも一つずつ一緒に経験を重ねていこうね。

R さん

4 歳になります

「せんせー」と呼びかけては、伝えたいことがいっぱいRくん。この頃は「ぜんぶ たべられる！」と、給食をピカピカに完食できることが増えてきたね。張りきってチャレンジする姿が、とっても素敵なRくん。これからも遊びを楽しみながら、“やってみたい”気持ちを一緒に大きく育てていこうね。

B さん

4 歳になります

自分でやってみたい気持ちがもりもり出てきたBちゃん。給食のお茶碗を配ったり、机を拭いたり、お手伝いが楽しくなってきたね。お友だちや先生とするお買い物ごっこも大好き！少しドキドキするけれど、お友だちからバナナやイチゴをもらってカゴに入れて、得意気な笑顔が素敵なBちゃんです。

F さん

5 歳になります

1月からあいあいに通い始めたFくん。始めはちょっぴり緊張していたけれど、大好きな車の話になるととっても嬉しそう。「この車一緒や！」「これも知ってる」と、笑顔いっぱい！クッキングでは、卵を割ったり混ぜたりいろんなことに挑戦したね。これからも、Fくんの世界を広げていこうね！

T さん

6 歳になります

給食後のお楽しみは、絵本を見ること。引き出しに給食袋を片付けると、張り切って本棚まで行こうとします。自分で絵本を引っ張り出して、ページをめくって見ているTくん。お気に入りの絵本があると、興味しんしん…何度も繰り返し見えています。これからも、Tくんの好きなこと見つけていこうね！

L さん

7 歳になります

クッキングでは、先生や友だちと一緒に“ホットケーキ”を作りました。卵パックを上手に触って開けていたLちゃん。ゆっくり触って確認したり、最後まで自分でできることが増えてきたね。クッキングの後は、大好きなピアノの時間。友だちと3人で弾いていた「きらきら星」は、とっても素敵だったよ！



B.G.Mは、ぼくが担当。
次は、ショパンの曲をどうぞ。

～年長児 お母さんからのメッセージ～

先月号に続いて、年長児のお母さんより卒園を迎えるにあたって今の想いを寄せていただきました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

その6. C さんのお母さん

早いもので、あいあい教室を三男のCと訪ねて3年半が過ぎました。当時、週2～3は視覚障害児幼児教室。週1→幼稚園のプレ。週1→視覚支援学校の教室という過密スケジュールの中、どーしても年少からあいあいに通いたくて、月1回往復3時間かけてあいあいのひよこクラブに通う生活を始めました。そのくらい、あいあいは魅力的な所でした。念願叶って年少の時から週2→あいあい。週3→幼稚園生活がスタート。幼稚園で生まれた不安や、困り事はあいあいで克服し、アドバイス頂いて解決して次のステップへ進む。そんな風にして、細やかな支援をしてもらってきました。あいあいが無かったら今のようクラスの一員として幼稚園生活を送れたかな？と思うほどお世話になりました。でも実はあいあいでは一番記憶に残っているのは、3年間担当して下さった廣瀬先生に、Cではなく、長男の悩みを聞いてもらったことです（笑）。普段弱味を見せるのが苦手な私が、なぜかあの日はするする気持ちがあふれ出て、気付けば先生に話を聞いてもらいすっきりして大阪に帰る事が出来たんです。改めてCにとってもですが、私にとってもあいあいとの出会いには感謝の気持ちで一杯です。

あいあいは、先生やママ、パパ、兄弟達の愛にあふれた場所です。Cも将来、石田先生のような自立した誰からも愛され必要とされる人間になるよう、これからもあいあいの力をお借りしながら頑張っていきます。来る回数は減りますが、いつまでもあいあい教室の一員として、背中を支えてもらいながら頑張ります。3年間ありがとうございました。

その7. J さんのお母さん

あいあい教室に通い始めて早4年。4月から小学生とは、とても感慨深いものがあります。最初はおとなしかった(?) Jも、今ではすっかり大きく、元気いっぱい成長してくれました。苦手な事はやらない性格でしたが、先生方に楽しさや、一つずつ丁寧に教えて頂く事で、今では何でもチャレンジ出来るようになりました。私もあいあい教室には、たくさん助けられてきました。

大きな手術を決断しなければならぬ時、石田先生、お母さんたちの前で泣

いた事もありました。でも泣いた後はスッキリとした気持ちになり、前を向く事ができました。話を聞いてくれる人がいる、気持ちをわかってくれる人がたくさんいる。大阪からの距離は長く、正直しんどい時もありましたが、ここで過ごせた日々、たくさんの人との出会いにとっても感謝しています。4月から新しい生活が待っています。親子共にドキドキしていますが、また、一つずつ少しずつ、乗り越えて頑張っていきたいと思います。

あいあい教室の先生方、遠い幼稚園に何度も足を運んで下さり、私の話を聞いて下さり、たくさんのお事も教えて頂きました。本当に有難うございました。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

その8. I さんのお母さん

ちょうど6年前、小さく生まれたIに告げられた病名は驚くほどのものでした。たくさん点滴につながれとても苦しかったと思いますが、ここまで本当に頑張ってくれてくれました。あいあい教室との出会いは、リハビリの先生からの紹介でした。生まれてすぐに視力の障害の可能性は聞いていましたが、検診では眼には異常はほぼないと言われ、でも何か気になる…。とにかく通ってみようと思ったことがきっかけでした。成長するにつれ、他のお友達とは見え方が違う…。何でこんなに音や声に敏感に泣くのだろう…。成長の過程で色々な不安がありました。その都度先生方に的確なアドバイスをもらえたことで、悩み続けることなく受け入れていくことができました。また、私にとって一番衝撃だった出来事は、Iがトイレで排泄できるということを先生が証明してくれたことでした。眼のことだけでなく、Iの色々な可能性について親身になって相談にのっていただきました。我が家の合言葉は「Iが一番頑張っている」です。Iが頑張っているから私も頑張ろうという気持ちになれます。幸せのかたちは人それぞれ。世界で一番幸せな家族だと自信をもって言えるようになればいい。Iの存在が私たちの幸せです。これからもIのペースで成長してくれるように、全力でサポートしていきたいと思います。先生方、お友達やお母さん方との出会いは私の宝物です。楽しい時間を本当にありがとうございました。

その9. N さんのお母さん

保育園&あいあい教室 OBの先輩ママのアドバイスをきっかけにお世話になり、あっという間の2年間でした。いつも私が気付かない事に対してのアドバイスや、細やかな配慮をして頂き先生方には本当に感謝しています。

Nは最初の頃、自分から積極的に友達とは関わらない狭い世界で過ごしていましたが、成長と共にごっこ遊びにはまりだし、年長になるとお姉さんになったのが嬉しくて大のお世話好きに。そばから見ていると「〇〇ちゃんの隣じゃなきゃイヤ!!」とゴネたり「一緒に〇〇ごっこしよっ!!」と一方的に誘い、押しが強く感じる時もありますが、先生方のフォローのお陰で友達とも楽しく過ごせ、何より人と関わるのが大好きになりました。私はお母さん達との語らいの中で、悩みやストレスを発散！素敵な出逢いにも感謝しています。4月からは全ての場面で最年少の小学生に。勉強についていけるか、新しい友達とコミュニケーションがとれるか…不安は尽きないですが、学童という繋がりも新たに出来たのでこれからもお母さん達や先生方にたくさん相談させて頂くと思います。今後とも、よろしくお願いたします！

その 10. O さんのお母さん

去年の6月(5歳半)から眼鏡生活が始まり、あいあい教室へは在園のお友達の勧めで夏に見学に行きました。そして同10月から通っていますが、以前通っていた療育を遥かに上回るほどの先生方の手厚さに初回から驚きました。グループ療育では子ども2人連れて、個別療育では子ども3人連れて自転車で25分かけて通うのは正直不安がありましたが、ここには小さな子連れのママさんや遠方から1時間以上かけて通うママなどが多くて、私はこの程度で弱音を吐いてたらあかなーと最初の1週間で感じ、腹をくくって極力休まずに通う決意を固めました(笑)。あいあい教室で練習して出来るようになった事もあり、とにかくあいあいが大好きな息子。半年しか通えませんでした。療育を転園して本当に良かったと心から思っています。

先生方、半年間ありがとうございました！新1年生になってからも放デイであいあいと繋がれる事がとても有り難いです！

その 11. S さんのお母さん

SはプロテインC欠損症という病気を抱えて生まれてきました。その病のせいで精神運動発達遅滞をきたし、全盲となりました。1歳の頃、病の根治^{こんち}の為に肝臓移植をしたので、感染に弱く、更に、てんかん発作が頻発しているような状態です。また、アレルギー体質で、乳製品、卵、鯖、ゴマ、イチゴ、バナナが食べられません。そんな状態ですので、とにかく日々生活していく事に精一杯で、正直、眼についてはおざなりになっていました。そんな時、通院している病院が開催した視覚障害児対象の研修会へ、古川先生が講師として来て下

さいました。Sのような重症心身障害児はどうしていったらいいのか？等色々不安な思いから、最初は不躰な質問をしていたと思います。けどひとつひとつ丁寧に対応してくださる先生の姿に、信頼を感じ気付いたらその日のうちにあいあい教室へ見学に行く約束をしてしまいました。あれから1年。Sを受け入れ、愛情深く指導して下さった先生方やいつもお名前を呼んで、仲良くしてくれるお友達のおかげであいあい教室は、Sにとって大好きな場所になりました。何かと過敏ですぐ泣いて、母に甘えてばかりの子が、新しい事に取り組んでいこうとする、成長した姿を見る事が出来て本当に感謝しています。また、給食にも気を配って頂いて、みんなと同じものを安心して食べられる環境づくりをしてくださり、ありがとうございました。それから、子どもの為に奮闘しているお母さん達との交流にも刺激を受けました。やっぱり自分が子どもの状態を理解し、サポートの仕方を勉強して成長していかないと子どもの成長に繋がらないのだと痛感しました。

短い間でしたが、本当にお世話になりありがとうございました。今後は放課後デイにも通う予定です。また、これからも宜しくお願いします。

その12. Uさんのお母さん

あいあいに通い始めてはや2年、たくさんの育ちがありました。口癖の様に「きょうはあいあいに行く？」「楽しかった！また行きたい！」と言ってくる娘にとって心地よく大きな存在の居場所なんだと確信しています。少し頑固で好き嫌いの激しい娘に対して試行錯誤しながら根気よく距離を縮めて下さり先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。振り返ると全てがプラスでしかなかった時間でした。切り替えがなかなか出来なかったり、集中出来なかったり悩んでいましたが、いつも最後に丁寧に活動内容を報告して下さってアドバイスいただけただお陰で日常生活にも実践して取り入れていけたと思っています。普通に売っている子育てマニュアルなんか読んでも役にたたない子育ての中、試行錯誤模索して語り合っ相談できる環境は私にとっても心のおもりを下ろせる場所でした。娘は小学校への期待に胸を膨らませていますが、マイペースに楽しんで一緒に成長していきたいなと思っています。

先生方にはご健康をお祈りしつつ、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。



卒園します！

その 13. H さんのお母さん

あいあい教室に通所していたのは 8 ヶ月と短い期間ではありましたが、週 2 回とても楽しく通っていました。「Hちゃん、保育園よりあいあい行きたいねん。」とまで言うぐらいHちゃんにとって楽しい場所だったんだと思います。あいあい教室の先生方のことも大好きで「Hちゃん、古川先生かわいいし好きやねん。」といつも嬉しそうに言っています。今まで視覚障がいに対する知識がほとんど無かったのですが、あいあい教室の先生方や他のお母さん達からいろいろアドバイスしていただき、私自身も成長できたと思います。これからもHちゃんが生活していく上で、少しでも楽に快適に過ごせるように工夫して行きたいと思っています。

短い期間でしたが、あいあい教室に通うことができ本当に良かったと思っています。そして親子共々充実した時間を過ごすことができたこと、感謝しています。あいあい教室を卒園することで、大好きな先生方やお友達と会えなくなるのは寂しいですが、困ったときは相談に、嬉しいことがあったときは報告したいと思いますのでこれからもよろしくお願いします。

～あいあい教室「放課後等デイサービス」の事業拡大に向けて～

あいあい教室では、1976 年から視覚に障がいや不安のある乳幼児の支援を行ってきました。その中で「放課後に子どもが安心して過ごせる場所が欲しい」「就学後も相談できる場所が欲しい」との声が多く聞かれるようになりました。2003 年から小学 1 年生までの受け入れを始めましたが、「2 年生以降も支援を継続して欲しい」という長年に渡る要望を受け、今春 4 月より小学 1 年生から高校 3 年生を対象とした、放課後等デイサービスの事業拡大を行います。ライトハウス 2 階の会議室を居室に改装し、視覚障がい総合福祉施設としての機能を活かしながら、視覚に障がいや不安のある児童が安心して楽しく過ごすことができる居場所作り、親子の支援が進められることを願っています。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

(あとかき) 年長さんの男の子が「もうすぐ卒園やねん」と、一言。「そやな。でも、先生ちょっと寂しいな…」と私。そんな私に「先生、1 年生になってもまた来るからな、大丈夫や」と言ってくれた。卒園の季節、新たな世界へ一歩踏み出す子どもたちに、エールを送る気持ちと寂しい気持ちが交差する…。

廣瀬

★ホームページ版「あいあいつうしん」がご覧になれます★

京都ライトハウスのホームページ内、あいあい教室のページから「あいあいつうしん Web 版」のコンテンツにアクセスしてください。写真がカラーで掲載されています。Web 版もぜひご覧ください！

編集人 古川 千鶴 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11 社会福祉法人 京都ライトハウス 視覚支援 あいあい教室 Tel:075-462-4462